

世界はひとつ

GIFU
INTERNATIONAL
CENTER

日本語版

(公財) 岐阜県国際交流センター (略称 GIC) 発行
国際交流・多文化共生情報誌

2016年 No. 135



© 岐阜県 清流の国ぎふ・ぎふメモ #0195

センターの事業報告 —岐阜県の国際化・多文化共生の社会づくりを推進します—

地域の国際化推進のための環境づくり

国際理解



イギリスの紅茶文化

イギリス出身のローラ国際交流員が、イギリスの文化、紅茶の歴史、ティータイムの楽しみ方や紅茶の入れ方などを紹介し、イギリス文化への理解を深める機会としました。

日 時：平成27年10月21日(水)
18:00~19:30

場 所：ぎふ清流文化プラザ
参加者：34名



トルコ人のライフイベントの慣習を知りましょう!

トルコ出身のセヴギ国際交流員が、トルコ人の冠婚葬祭をはじめとしたライフイベントに関する慣習をテーマに、人生の節目などで現れるトルコ文化を紹介しました。

日 時：平成27年12月13日(日)
14:00~15:30

場 所：ぎふ清流文化プラザ
参加者：30名

ブラジル音楽～荘厳な夢、鮮明な光～

ブラジル出身の森下国際交流員が、音楽を通じてブラジル文化の魅力を紹介しました。またブラジル音楽演奏者等の演奏会も行いました。

日 時：平成27年11月25日(水)
18:30~20:00

場 所：ぎふ清流文化プラザ
参加者：27名



語学講座

当センターでは、年に4回、1期3ヶ月のスパんで語学講座を実施しています。今年度は英語(初級・中級)、ポルトガル語(中級)、中国語(初級)の講座を行い、多くの方に参加していただきました。併せて各国の文化紹介なども授業内で行いました。



多文化共生の地域づくり

医療



医療通訳ボランティアフォローアップ研修

岐阜県医療通訳ボランティア幹事登録ボランティア等を対象に、ボランティア同士の意見交換、通訳業務の中で生じる問題や悩みの共有及び専門家からのアドバイスを受け、通訳育成後のフォローアップを実施しました。

日 時：平成27年8月2日(日)
13:30~16:30

場 所：岐阜県ふれあい福寿会館
参加者：23名

相談対応



外国人相談対応者のためのスキルアップ研修

外国人住民からの相談対応を行っている相談員等を対象に、社会保険や労働条件、労働問題に関する知識、相談時の対応方法について学ぶ研修を実施し、外国人労働者が安心して働く支援ができるよう人材育成を行いました。

日 時：平成27年9月15日(火)
13:30~16:30

場 所：岐阜県図書館
参加者：23名

医療通訳ボランティア研修

日本語が不自由な外国人住民が安心して医療機関を受診することができるよう、医療通訳に必要な基礎知識と技術を学ぶ研修を実施しました。岐阜県内の病院に派遣する医療通訳ボランティア育成と人材発掘を行いました。

日 時：平成27年10月3日(土)、4日(日)
10:00~17:00

場 所：岐阜大学医学部
参加者：3日40名、4日41名
(ブラジル、中国、フィリピン)



教育

ブラジル人学校児童・生徒進路支援事業

ブラジル人学校 HIRO 学園の生徒を対象に、進路ガイダンスを実施し、日本に定住する際の安定した生活に繋がられるように支援を行いました。

日 時：平成28年1月14日(木)
ビジネスマナー講習 9:30~12:00
ライフプランニング授業 13:00~15:00

場 所：学校法人 HIRO 学園
参加者：23名



当センターでは、ポルトガル語、中国語、タガログ語の医療通訳ボランティアを、各提携医療機関の依頼に応じて派遣しています。

・現在のボランティアは38名(ポルトガル語15名、中国語17名、タガログ語6名)。毎年試験を実施し、一定レベル以上の知識及び技術を持った人材をボランティア登録しています。

| | |
|-------------------------|-----|
| 岐阜県の外国人留学生による座談会 | P 2 |
| 世界の皆さんにインタビュー | P 3 |
| 国際交流員から皆様へお別れのご挨拶 | P 4 |
| 平成27年度重点事業—減災・防災への取り組み— | P 5 |
| 在住外国人の方への生活情報 | P 6 |

| | |
|-------------------|-----|
| 岐阜県で活躍する国際関係団体の紹介 | P 7 |
| ・認定 NPO 法人 飛鳥 | |
| JICA からのお知らせ | P 7 |
| センターからのお知らせ | P 8 |

岐阜県の外国人留学生による座談会

当センターでは、県内の大学等で学ぶ外国人私費留学生を対象に、奨学金支給事業を行っています。留学生の経済的負担の軽減を図るとともに、国際交流や地域交流活動等への積極的な取り組みをお願いしています。

このたび今年度の奨学生 5 名にお集まりいただき、留学のきっかけや大学で学んでいること、岐阜県の印象などお話を伺いました。また、普段は学業が忙しく、大学が異なる留学生同士が顔を合わせる機会が少ない中、これをきっかけにお互いを知り交流を深めていただく良い機会となりました。

出席者（大学および専攻等は平成27年12月7日現在のもの）

| | |
|------|---|
| 楊 雯 | さん（女性・中国）名城大学大学院都市情報学研究所 2 年 |
| 楊 帆 | さん（女性・中国）岐阜経済大学大学院経営学研究所 2 年 |
| 蔡 俊杰 | さん（男性・中国）中日本自動車短期大学自動車工学科 2 年 |
| 王 剛 | さん（男性・中国）中部学院大学経営学部経営学科 4 年 |
| 馬 彪 | さん（男性・中国）岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科医療情報学専攻 博士後期課程 3 年 |

——大学で学んでいることや日本に来たきっかけを教えてください。

馬 彪 約 9 年前に来日しました。きっかけは日本にいる親戚のおじいさんからの紹介で岐阜県が初めてです。大学では計算機を使って薬の化合物を探す研究をしています。

蔡 俊杰 通っていた高校が福岡にある日本語学校と関係があり、来日するきっかけとなりました。僕自身は自動車が好きで自動車について勉強がしたいと思い、中日本自動車短期大学に入学しました。来年 4 月からは愛知県内の日本の自動車関連企業で勤務します。

王 剛 山東省青島市の出身です。大学では商業と企業に関して学んでいます。きっかけは、日本に留学した経験がある姉から薦められました。元々自分の勉強にも関わりがある日本のサービス業が世界で高い評価を受けていることもあり、この分野について深く学びたいと思いました。

楊 雯 空き家の再利用について研究しています。日本も中国も少子高齢化の影響があり、空き地や空き家がすごく増えています。いろいろな場所を見に行ったり、いろいろな方にお話を伺ったりおもしろいです。留学のきっかけとなったのは、母が日本の会社でひな人形のデザインの仕事に携わっており、当時私も日本人の方と遊びに行ったり食事に行ったりしましたので日本に興味を持ちました。

楊 帆 江西省南昌市の出身です。多国籍企業の人材戦略について勉強しています。広い視野を持ち豊富な知識を身につけようという意識を持って留学しました。日本に興味を持ったきっかけは、小学 2 年生の頃日本のマンガを見たことです。ドラえもんやセーラームーンなどを読みました。日本はすごく魅力があって、現代的なところと伝統的なところを持つこの国に行ったら、私にどんな変化が起こるかなと楽しみに思い日本に来ました。

——来る前に描いていた日本のイメージと違ったことはありますか？日本、岐阜県に来て感じたことを教えてください。

馬 彪 日本はいろいろ発展しているので高層ビルが建ち並ぶイメージがありましたが、岐阜はまったく違って最初は帰りたいほどショックを受けました。失礼かもしれませんが、大学の周りは田んぼがあって、畑で野菜を作っていてとても田舎なのです。でも住み続けると、この場所で良かったなあと思うようになりました。部屋を出るとすぐ前に山があって景色が素晴らしく、今では本当に離れたくないと思っています。

蔡 俊杰 岐阜に来る前は福岡で 1 年半くらい過ごしました

が、福岡の町は明るく綺麗な所ばかりで車がなくてもどこへでも行けます。岐阜に来たばかりの頃は、車も持っていませんし自転車で近くの大きなスーパーへ買い物に出かけるくらいでした。岐阜は車がないと不便ですが、車の必要性を感じることができるので、そこが岐阜の良いところでもあります。

王 剛 2 つあります。ひとつめは、ショックを受けたことです。来日して間もない頃初めて日本の温泉に行ったのですが、その際男風呂に女性のスタッフさんが周りを見てもなく入ってきて作業をしていられました。後日家族から、それはよくあることで気にしなくてもいいよと言われましたが驚きました。2 つめは高校の教育制度についてです。中国の高校生活は朝 6 時に起きて夜 9 時まで学習して、実家には 2 週間に 1 回帰ることができます。中国の方が学校の決めたスケジュールに縛られ大変だなと思いました。

楊 雯 日本は田舎でも街が綺麗で、観光の意識が高いことに感心しています。それから、子どもの教育が一番気になっていますが、日本の幼稚園の子ども達は幸せだと感じます。中国の幼稚園では朝早くから本を読んだり体操したりしますが、日本では外での散歩、夏は水遊びなど遊びを通して子どもが学んでいけるのです。

楊 帆 日本で一番びっくりしたことは、北の北海道から南の沖縄まで、コンビニには全部トイレがあり、どんな田舎でも郵便局、学校があることです。中国では地方によって格差があり西と東では全然違います。また、日本では図書館に行くと、年配の方が多くおられ読書を楽しんでいます。このような雰囲気は中国にはありません。

——皆さん、大学で取り組んでいる専門分野の視点から印象を持ったこと、関心を持っている事柄から気付いたお互いの国が持つ地域の課題にお気づきですね。今日はありがとうございました。今後も日本で勉強を続ける方、就職して働く方がいらっしゃるとは思いますが頑張ってください。



世界の皆さんにインタビュー



岐阜県には、約4万3千人の外国人住民の方がいらっしゃいます。中国、ブラジル、フィリピンなど様々な国から岐阜に来て住んでいる皆さんが日本で何をして、何を感じているのかインタビューしました！



●名前：アレックス・ロニーガン ●出身：カナダ
(Alex Lonnygan)

自己紹介をお願いします。

こんにちは！岐阜県の白川郷で外国語助手（ALT）の仕事をしているアレックスです。カナダ出身で、カナダ軍の歩兵を務めながら、プリティッシュコロンビア大学で国際交流学を専攻していました。

岐阜県ではどんな仕事をしていますか？

二校の幼稚園の園児と、小学1～3年生の生徒に英語を主任として教えています。また、小学4～6年生と中学1～3年生のALTを務めています。

母国はどんなところですか？

カナダの気候は日本と似ていますが、平均の湿度はずっと低いです。カナダとアメリカの文化や言語の違いは一見分かりにくいですが、違うところもあります。

例えば、カナダ英語では、日本語の「～ですね」の「ね」のような文の終わりにつける言葉と非常に似ている「Eh」という単語が会話でよく使われています。

日本に来たきっかけはなんですか？

どうしても海外で仕事をしてみたかったので、JETプログラムはそれができる非常にいい機会でした。日本のアニメなどのポップカルチャーにはあまり興味がありませんが、日本の武術の歴史と宗教の風習や、言語としての日本語に憧れました。

日本についてどう思いますか？

他の国が気付かないであろう問題を解決する素晴らしい国です。

岐阜県での生活についてどう思いますか？

岐阜県での生活はスムーズに慣れました。ここでは、(苦手な人もいると思いますが)雨天を楽しみながら、思う存分ハイキングに行けます。

日本で生活している上で、何か困ったことや不便はありますか？

資源ゴミのリサイクルや銀行が、平日の限られた時間のみしか開いていないので大変苦労しています。

母国と日本の違いと共通点を教えてください。

極端に違うと感じたのは職場の文化ぐらいだと思います。カナダでは、勤務時間が厳しく守られていて、報酬なしで勤務時間外の仕事を社員にお願いすることはありません。一方で、日本では、様々なことに対して多くの注意を払ってもらえるので、誤りやもれなどがなくしっかりしていると思います。

日本人と交流する機会はありますか？ない場合は交流したいと思いませんか？

今住んでいる町では、17～25才の人はほとんど私しかいません。年齢に関係なく、同僚や近所の皆さんと楽しく交流していますが、自分の世代のライフスタイルや生活環境の話になると、周りの言う事にあまり共感できないことが多いです。

日本で多文化共生を推進するにはどうしたらいいと思いますか？

日本に来て以来、多文化コミュニティがポジティブなものとして描かれているのを、教室以外では見たことがありません。レストランや劇場では海外の文化を体験することができますが、体験するのみで、実際に異文化間で交流をする機会が欠けているように思います。多文化コミュニティが日本の文化を守りながら栄え、平和に存在するのを、日本に住んでいる皆さんも見ることがあれば、今より多文化共生を受け入れる気持ちが育つかもかもしれません。

外国語学習や異文化・国際交流をする上でのアドバイスをご自身の経験をお交えてお願いします。

外国人と外国語を練習したい時は、その旨を相手に伝えてあげるといいと思います。そうしないと、母国語を使わずに、すぐに日本語を使ってしまう人が多いです。すべての会話はコミュニケーションをとるためだと勘違いしてしまうかもしれません。私も、来日したばかりの頃はそう思っていました。

センターより

ただ練習したいという気持ちだけで、いきなり外国語で話しかけるのは、失礼になっているかもしれません。皆さんが、その人と友達になりたい、交流したいという気持ちや、日本語が通じないと思い外国語で話しかける時ももちろんあると思います。練習したい時は素直に気持ちを伝え、日本語も教える姿勢を持つといいかもしれません。

日本人に伝えたいことがありますか？

日本にいる間、暖かく歓迎してくださり本当にありがとうございます。もしカナダに行きたかったら、高校生からでも留学や仕事の機会が多いので、是非来てください。

ありがとうございました！

カナダについて

正式名：Canada (カナダ)

首都：オタワ

最大の都市：トロント

面積：998.5万平方キロメートル (世界第2位、日本の約27倍)

公用語：英語、フランス語

人口：約3,540万人

通貨：カナダドル

GDP：1兆7,796億米ドル

国旗：カナダのシンボル、メイプルリーフを中央に配置。

左右のラインは太平洋と大西洋をイメージしている。

※数字は外務省のカナダ基礎データより



国際交流員から皆様へ お別れのご挨拶

森下 アンダーソン ^{みさお} 実砂雄国際交流員（ブラジル出身）からのご挨拶



この度、任期満了を迎え、3月末をもって退職することになりました。振り返ってみますと、地域社会の国際化と在住外国人コミュニティへの支援等の任務を通して県民の皆様とふれあい、充実した5年間に及び国際交流員生活を終えることができました。多くの方々からご協力、応援をいただき、心から感謝しております。

東日本大震災直後に来岐したため、深刻な問題に満ちあふれていた日本については「世も末だな」と当時感じていました。今は様々な嬉しい出来事の積み重ねで本来の明るさが取り戻されつつあるのではないかと思います。FIFA女子ワールドカップのなでしこJAPANの優勝、東京スカイツリーの完成、北陸新幹線の開通、日本人宇宙飛行士やノーベル賞受賞者の増加等が明るい希望を与えていると思います。また県内では、ぎ

ふ清流国体、本美濃紙の世界遺産登録や岐阜の日本遺産認定など、めでたいことがたくさんありました。その間、ワールドカップブラジル大会を機に、ブラジルの最新事情がメディアに取り上げられるようになり、文化交流がとても活発的に行われてきました。

国際交流の活動はささやかな活動に過ぎなかったものの、私にとって日本とブラジルだけではなく、オーストラリア、中国やフィリピンなどの良さを知る大きな機会でした。お邪魔させていただきました岐阜県全地域の方々の優しさや自然の豊かさを決して忘れることなく、岐阜での数々の貴重な体験を今後の人生において大切にしていきたいと思っております。本当にお世話になりました。改めまして、ありがとうございました。



ブラジル国際交流員と記念撮影

劉 ^{りゅう しゅんらん} 春蘭国際交流員（中国出身）からのご挨拶



岐阜に来て着任の挨拶を昨日したばかりのように感じますが、もう別れの挨拶なんて、月日の経つのは早いものだと思うにいられません。一年間という短い期間でしたが、私にとってはとても充実した一年間になりました。

センターに来たばかりのころは、中国の学校での仕事と違い、あまり慣れませんでした。明るい職場、そして熱心な同僚たちのおかげで、徐々に慣れ、同時に新しい仕事の面白さを味わいました。学校訪問、語学講座、文化サロン、国際交流イベントなど、中国と日本をつなぐ様々な仕事で岐阜の皆さんと出会い、たくさんの友達を作り、皆さんと一緒に過ごす日々の中で、いい思い出をたくさん作ることができました。皆さんに中国の文化を

伝えると同時に、自分自身が母国文化についてもう一度勉強するよい機会でもあったと少し感じています。中国での仕事では、日本語専攻の生徒に日本語を教えたり、自分が知っている日本を紹介していますが、この一年は日本の皆さんに中国のことを紹介することができ、日中の友好交流に微力ながら尽くすことができ嬉しかったです。そして、ブラジル、イギリスなど様々な国と日本の関係を知る機会にも恵まれ、見聞を広めることができました。

別れの時期が近づき、悲しく寂しいですが、「別れは再会のためだ」ということを信じています。中国語のさよならは「再見」で、文字通り「再び会う」という意味です。笑顔で皆さんとお別れしたいと思います。きっと、またどこかで皆さんに会えると信じています。岐阜での一年間、楽しく過ごすことができたのも皆さんのおかげです。ありがとうございました。

帰国しても日本と中国、そして岐阜県と江西省の架け橋として頑張っていきたいです。もっと詳しく日本のことを周りの友達や生徒に紹介します。機会があれば、皆さんもぜひ中国、そして江西省へ遊びに来てください。再見！



上高地にて

ご自宅で英語を教えてくださいませんか？

COCO塾ジュニア ホームインストラクター募集中！



ご自宅を教室にして子どもに英語を教え、収入を得ながら子どもの未来を育むことができる、やりがいのある仕事です。

ネイティブ講師による
英会話レベルチェックをプレゼント！

説明会随時受付中♪

COCO塾インフォメーションセンター岐阜

☎0120-615-212(24時間受付・年中無休)



COCO塾
Communication Competence
Jr.
NICHII YORK ACADEMY

センターの平成27年度重点事業 — 減災・防災への取り組み —

大地震などの大規模災害が発生した場合、外国人住民に対して的確な情報提供や言語支援を行うことができるよう、平成27年11月29日（日）、大垣市、（公財）大垣国際交流協会、岐阜経済大学と連携し、「災害時外国人支援ボランティア研修」及び外国人防災啓発事業「防災まちあるき」を岐阜経済大学にて実施しました。

ボランティア研修では、行政、地域住民、災害時における外国人支援に関心のある日本人・外国人のボランティアを対象に、災害時に外国人住民が直面する課題やボランティアの役割について講義を受けた後、実際に地震が起きたことを想定して、災害時に外国人支援活動の拠点となる「災害時多言語支援センター」の立ち上げを行い、被災外国人の状況把握や情報提供・収集、避難所巡回等の模擬訓練を実施しました。

防災まちあるきでは、地域に住む外国人住民らを対象に、災害時にポイントとなる場所（安全な場所、危険な場所、役立つ場所）を確認しながら、会場周辺のまちあるきを行い、実際に見て体験してもらうことで、安全に避難できるよう訓練しました。

大垣市の他に、可児市では、12月に可児市多文化共生センタープレビアで、行政向けの災害時多言語支援センター設置運営研修及び外国人住民向けの防災ワークショップを、岐阜市では、1月にみんなの森ぎふメディアコスモスで、ボランティア研修と外国人住民向けに応急手当などの防災体験学習を実施し、地域における災害時外国人支援体制の整備やボランティアの発掘・育成とともに、外国人住民の防災に対する意識啓発を図りました。

※この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成事業により実施されています。

災害時外国人支援ボランティア研修

講義「災害時に外国人住民が直面する課題とボランティアの役割」

災害時に外国人住民が直面する3つの壁（ことば、制度、こころの壁）、多言語支援センターの役割や動き、多言語やピクトグラム等の情報提供の方法を学びました。

また、講師自身の東日本大震災における多言語支援センターでの活動もご紹介いただきました。

災害時多言語支援センター設置・運営訓練

マグニチュード8.3の南海トラフ地震が発生し、死者5名、負傷者208名、避難者数は2,000名以上を想定し訓練を実施しました。多言語支援センターの開設から始め、災害対策本部より発信されている数多くの災害情報から外国人被災者に必要となる情報の取捨選択、多言語への翻訳、外国人被災者の現状把握や情報提供など、総務班と情報班に分かれて訓練を行いました。

参加者：24名

講師：（特非）多文化共生マネージャー全国協議会
副代表理事 高木 和彦氏
（特非）多文化共生マネージャー全国協議会
理事 高橋 伸行氏



講義の様子



総務班、情報班にわかれての支援活動

防災まちあるき

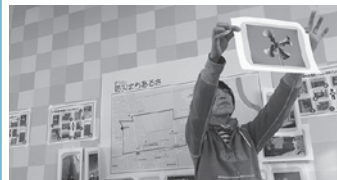
地域に住む外国人住民が、実際の避難所である岐阜経済大学を起点とした周辺のまちを歩き、防災チェックポイントの確認をしました。大学のキャンパス内では、火災報知器、非常口、公衆電話、ホース格納箱なども確認し、災害から自分の身を守る方法を学びました。また、大垣市は、地下水が豊富であるため、液状化現象が起きやすく、建物が密集している地域は危険な場所になることを伝えるとともに、大垣市防災ガイドブックより、自分の避難所を確認するなど、平常時から災害に備える意識づけを行いました。

<防災チェックポイント>

- 災害時に役に立つ場所（消火栓、防火水槽、防災無線など）
- 安全な場所（広場、避難場所など）
- 危険な場所（側溝、砂利道、崩れかけの壁など）

参加者：28名

講師：多文化演劇ユニット MICHI、（特非）防災支援ネットワーク



チェックポイントの振り返り



液状化現象の説明



まちあるきの様子

合同訓練 避難所巡回

合同の避難所巡回訓練では、まちあるき参加者が外国人被災者役となり、各避難所に避難しているという設定のもと、研修参加者が外国人被災者に情報提供や聞き取り調査を行い、人数や状態把握、外国人特有のニーズの理解、巡回レポートの作成などを行いました。避難所巡回後は支援センター内で、情報共有と振り返りを行い、スムーズかつ安定した継続的な支援ができるよう訓練しました。



外国人被災者へのヒアリング



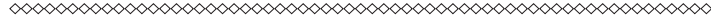
巡回後の情報共有・振り返り

非常食体験も行いました！

ブラジル・フィリピン料理の炊き出しと、お湯や水を注ぐだけでご飯ができあがるアルファ米を体験しました。



在住外国人の方への生活情報



病気やケガの時は？

医療機関について

日本では、入院や検査の設備が整い、様々な診療科目がある総合病院のような大きな病院と、身近にある一部の診療科目を専門とする個人の医院や診療所に分かれます。かぜなどの軽い症状の時は、まず症状に対応する医院・診療所（内科など）に診察してもらい、必要なら大きな病院で専門的な治療をうけるといいでしょう。病気の時に慌てないように、家の近くにどんな医療機関があるか確認しておきましょう。

診療科目の一例

- 内科：かぜをはじめ病気一般
体の調子が悪いと思った場合や、どの診療科を受診していいかわからない場合は、こちらで診察を受けましょう。
- 小児科：小学生までの子どもを対象に病気一般
- 耳鼻咽喉科：耳や鼻、のどの不調や、花粉症など
- 眼科：目の病気一般（目が痒い・痛い、ものもらいなど）の診察や、視力検査など
- 皮膚科：皮膚の痒み、かぶれ、腫れや爪の異常など
- 歯科：虫歯や歯周病の治療など



診察に必要なもの

病院へは診察券（初診は除く）と健康保険証を持って行きます。健康保険証の提示で、支払いが一部負担となります。

公的医療保険について

大きく分けて「健康保険」と「国民健康保険」の2つがあります。保険に入っていると、医療費は上記のとおり一部負担となり3割支払う（小学校に入学する前までは2割）だけですが、保険に入っていない場合は、全額支払いとなり、かなり高額となります。突然の病気やケガでも安心して医療をうけるため、必ず健康保険に加入しましょう。また保険に入ると保険証がもらえるので、大切に保管しましょう。

◆職場で入る健康保険（社会保険）

会社などで働いている人が加入します。加入手続きは勤務先が行います。健康保険料は給料より差し引かれますが、その額は給料によって決まり、半額は会社が支払います。



◆国民健康保険

職場の健康保険に加入していない人が加入します。原則、日本に3ヶ月越えて滞在する人は国民健康保険に加入する必要があります。加入手続きは市町村の役所の健康保険の担当課で行います。

税金について

税金と聞くと、あまりいい印象を持っていない人も多いのではないのでしょうか。ただ、公共施設や警察・消防など、私たちの安全な生活のためや、ゴミの処理や新しい道路や補修など、私たちが生活していく上で必要なものに使われています。今回は税金の一部について説明をします。

所得税

外国籍の人であっても、一定の所得（収入）がある場合は、日本人と同じように税金を納める必要があります。所得税は、1月1日～12月31日までの1年間に得た所得にかかる税金です。

◆自営業、農業、自由業の方など

1年間の所得から所得税を計算して、翌年の2月16日～3月15日までの間に税務署に行き所得税の額を確定し、税金の支払いや、払いすぎた税金を戻す手続きを行います。これを「確定申告」といいます。確定申告は必ず行いましょう。



◆給与所得者

会社勤めの方は、毎月の給料やボーナスから所得税が差し引かれ、国へ納めています（源泉徴収）。その年の年末に、勤務先で所得税の過不足分の精算（年末調整）をします。よって、確定申告を行う必要はありません。ただ、1年のうちに2つ以上の会社で働いた場合や、収入がない外国の家族に送金している場合などは、確定申告をします。詳しくは、お近くの税務署にご確認ください。

自動車税と軽自動車税

日本では、自動車を持っている場合、税金がかかります。新車購入と車検時に支払う自動車重量税と、毎年、基本的に5月末頃までに支払いをする自動車税、軽自動車税です。今回は自動車税と軽自動車税について紹介します。

◆自動車税（県が課税）

毎年4月1日に自動車を持っている人にかかる税金です。納付通知書が届いたら、1年分を一括して支払います。4月以降に新車を購入した場合は、翌年3月までの税金が月割で課税されます。納税通知書は5月上旬頃に郵送されるので、記載の期日までに指定された金融機関、コンビニなどで支払います。指定された期日までに支払わないと、延滞金がかかりますので、必ず期日内に納めましょう。詳しくは、岐阜県自動車税事務所（058-279-3781）にご確認ください。

◆軽自動車税（市町村が課税）

毎年4月1日に原動機付自転車（原付）、軽自動車、二輪の小型自動車（オートバイ・スクーター）などを持っている人にかかる税金です。納税通知書が届いたら、記載の期日までに支払います。自動車税と異なり、年間での課税であり、4月2日以降に購入した場合は、その年は全額課税されません。ただ、4月2日以降に廃車した場合は、その年は全額課税されます。また、名義変更をした場合も、4月1日時点の所有者に課税されますのでご注意ください。詳しくは各市町村の役所の税務担当課にご確認ください。

◆注意点

自動車を人に譲ったとき、廃車にしたとき、また、盗難にあったときは、警察に盗難届を提出した後、必ず最寄りの運輸支局で名義変更や廃車の手続きをしてください。手続きを行わないと、自身がずっと税金を払うこととなります。



岐阜県で活躍する国際関係団体の紹介

認定 NPO 法人飛鳥

当団体は、アフガニスタン国内での事業を支えるための人材育成を目的とし、アフガニスタンと日本国内の国際交流と両国の社会経済の発展に寄与することを目的として活動しています。

設立 平成23年
代表 柳原 靖子
住所 岐阜市細畑五丁目 6 番10号
柳原事務所 2 階
電話 058-245-1902
E-mail asca.japan@yahoo.com
H P ascanpo.com



活動紹介

1. 現地での学校運営・学校建設

- ・建物とグラウンドを借り、授業を支援
- ・子どもたちの文具、生活物資等の支援 ※平成25年に靴下3000足を寄贈

2. 教育支援

- ・現地教職員を日本に教育訓練生として受け入れ
- ・職業訓練生の受け入れ
- ・アフガニスタンの教育支援のためのチャリティーバザー

3. 文化交流

- ・写真展や講演会、料理教室や民族音楽演奏会の開催



文化交流による国際理解や在住外国人支援の紹介！

アフガニスタンという国をより多くの方々に理解していただけるよう、岐阜を中心に文化交流を行い、支援の輪を広げています！

きものショーとアフガニスタン民族ダンス

「日本・アフガニスタン国際文化交流会」

十二単のきものショーの後、アフガニスタンの民族衣装と民族ダンスを紹介しました。来場者の多くが民族ダンスの輪に加わりアフガニスタン民族ダンスを楽しみました。両国の文化への理解を深める機会となりました。



講演会「輝く子どもたちの未来のために」

アフガニスタンの子ども達へ教育支援を呼びかけるパネルディスカッションや映画上映会を開催。

中学生や市民約150名が集まり、アフガニスタンの現状や、ボランティア活動の意味など理解を深める機会となりました。



外国人無料税務相談会 ※ GIC 助成事業

税理士、入管業務取次行政書士、行政書士及び土地建物取引士、学校関係者が相談員として対応し、税務相談だけではなく、より幅広くより専門的な対応を行いました。彼らが抱える不安を解消する手助けを行うことができました。

岐阜に住んでいるアフガニスタン人を含む外国人の方の支援もしています！



JICA からのお知らせ

JICA は岐阜県各地のイベントに参加しています。

皆さん、こんにちは！ JICA 岐阜県デスクの青木です。今回はこの秋に実施したイベントについてご紹介したいと思います。JICA 岐阜県デスクでは、県内の皆さんに世界の様子や JICA が行う国際協力事業について知ってもらうために、自治体や国際交流団体などが実施するセミナーやイベントに参加をしております。

【今回参加したイベント】

- 10/17 高山市「第20回 JA ひだ農業まつり」
- 11/1 可児市「多文化共生フェスティバル in 可児2015」
- 11/13~14 岐阜市「岐阜テクノフェア2015」
- 11/15 大垣市「国際理解ワークショップ ～地球の食卓～」
- 11/23 岐阜市「みんなの森のフム・ドキ・ワイワイ@ぎふメディアコスモス」
- 11/29 中津川市「なかつがわ図書館まつり」

世界のことについて知るゲームや JICA ボランティアの写真展示、アフリカの小物作りなど様々な内容で実施しております。うちのイベントにも参加してほしいという方は、ぜひお気軽にご相談下さい。



～JICA ボランティアや開発教育・国際理解教育、その他国際協力に関して、お気軽にお問合せ下さい～
JICA 岐阜県デスク 岐阜県国際協力推進員 青木道裕

TEL : 058-263-8069 E-mail : jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

岐阜県国際交流センターからのお知らせ

国際交流・多文化共生推進事業助成金 助成事業の募集

当センターでは、県民主体の地域の国際交流・協力活動や多文化共生の地域づくりを推進するために、民間の国際関係団体などが行う国際交流・協力事業及び多文化共生推進事業に対する助成を行っています。

1 募集期間（原則、年1回）

平成28年1月12日（火）～2月14日（日）必着

※募集締切 1週間前までに申請希望の方は一度ご連絡ください。

※書類の追加提出や不備修正のお願いが多くなっております。

恐れ入りますが、募集期間内に不備のない申請書が提出できるよう、申請書作成や見積書の手配など、早めのご準備にご協力をお願いします。書類作成にあたり、ご不明な点がございましたら、お気軽に担当までお問合せください。

2 助成対象事業

平成28年4月～平成29年2月28日までに完了する、以下の実施が確実に見込める事業が対象です。

①国際交流・協力事業

・県民の国際交流や国際理解を促進するもの

※単なる公演・鑑賞等を目的として行う事業は対象外

・海外で実施する国際協力活動、諸外国との相互理解や友好親善に資するもの

②多文化共生推進事業

・外国人住民の生活支援や日本語学習支援などを通じて多文化共生社会に資するもの

①②共通

・地域住民と外国人住民が協働で行う事業

3 対象事業者

・県内活動拠点を有する民間の団体であること

・原則1年以上の活動実績があり、かつ将来的にも継続して国際交流・協力、多文化共生活動を行う見込みであること

・目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項に関する定めがあること（規約、会則、役員名簿など）

4 助成金額

・国際交流・協力事業

助成対象経費の2分の1以内の額で上限30万円

・多文化共生推進事業

助成対象経費の3分の2以内の額で上限50万円

5 助成対象年限

同一内容の助成対象事業に対する助成は、3力年を限度とします。

※継続助成中の事業については、平成25年度より起算します。

※多文化共生推進事業は、真に多文化共生の社会づくりの実を挙げ、かつ助成を受けないときに事業を継続することが困難であると認められるものに限り、引き続き助成を行います。

詳細は当センターHPをご確認ください。申請様式や募集案内は、こちらよりダウンロードが可能です。

助成金担当：福川、木村

<http://www.gic.or.jp/aboutgic/grants/>



電話による行政通訳サービス（トリオフォン）

外国人住民の方が行政窓口など公的な機関に相談したい場合、電話での通訳サポートが利用できます。

相談者、当センター通訳、行政の三者間の同時通話を行い、各種の県行政情報をより迅速に提供します。※通訳料金は無料（但し、通話料は相談者負担）

GIC トリオフォン専用通話番号：058-263-8066

対応可能言語：英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語

日時：月曜日～金曜日 9:30～16:30



日本語



英語



多言語生活情報サイト

外国人住民の方が生活していく上で、役立つ生活情報サイトの一覧です。

【日本語】<http://www.gic.or.jp/foreigner/infosite/>

【英語】<http://www.gic.or.jp/en/foreigner/infosite/>



日本語



英語

外国語が通じる医療機関

岐阜県内の外国語対応が可能な医療機関が検索できます。（英語）

http://www.qq.pref.gifu.lg.jp/pb_md_fnc_language

岐阜県救急・災害医療情報システム「ぎぶ救急ネット」



国旗の貸出

非営利活動団体が国際交流等を目的とした事業に使用する場合に限り、国旗や卓上旗の貸出を無料で行っています。貸出は、原則、貸出・返却時に当センターにご来所いただける場合のみとなりますので、ご了承ください。ご希望の方はお気軽にお問合せください。

GIC 国旗 検索

広告主を募集しています！

センターのホームページ（日本語、英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語）、情報誌「世界はひとつ」（日本語、英語、ポルトガル語、中国語）に掲載する広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

発行

公益財団法人岐阜県国際交流センター（略称 GIC）

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067

トリオフォン 058-263-8066（電話による行政通訳サービス）

E-mail gic@gic.or.jp URL <http://www.gic.or.jp>

開館案内 開館 日～金曜日 9:30～18:00 休館 土曜日、祝日、年末年始

対応可能言語 英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語



GIC 検索

